

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年9月8日(2022.9.8)

【公開番号】特開2021-45313(P2021-45313A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2019-169160(P2019-169160)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月31日(2022.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の第1変動条件または第2変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を実行可能であり、識別情報を特定態様で停止表示すると、遊技領域に設けられた開閉可能な可変入賞口の開放を伴う大当たり遊技を実行する遊技制御手段を備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

識別情報を前記特定態様と異なる非特定態様で停止表示することに応じて、前記遊技領域に設けられた開閉可能な可変始動口が通常遊技状態のときよりも開放し易い特定遊技状態にすることがあり、

前記第2変動条件の成立に応じて識別情報を前記非特定態様で停止表示した場合には、前記第1変動条件の成立に応じて識別情報を前記非特定態様で停止表示した場合よりも、遊技者に有利な特典の前記特定遊技状態にし易いことを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記第2変動条件は、前記可変始動口への遊技球の入球に基づいて成立することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機であって、

前記遊技制御手段は、前記大当たり遊技の終了に応じて前記特定遊技状態にすることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明に係る遊技機は、

所定の第1変動条件または第2変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を実行可能であり、識別情報を特定態様で停止表示すると、遊技領域に設けられた開閉可能な可変入

50

賞口の開放を伴う大当たり遊技を実行する遊技制御手段を備えた遊技機において、
前記遊技制御手段は、

識別情報を前記特定態様と異なる非特定態様で停止表示することに応じて、前記遊技領域に設けられた開閉可能な可変始動口が通常遊技状態のときよりも開放し易い特定遊技状態にすることがあり、

前記第2変動条件の成立に応じて識別情報を前記非特定態様で停止表示した場合には、前記第1変動条件の成立に応じて識別情報を前記非特定態様で停止表示した場合よりも、遊技者に有利な特典の前記特定遊技状態にし易いことを特徴とする。

10

20

30

40

50